

報道機関各位

## 令和3年 年頭所感

令和3年、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は新型コロナウイルスとの闘いにおいて、不安と迷いの中、世界中が大変なときを過ごしました。そして、その状況は改善に向かうどころかむしろ悪化しています。さらにこれまでの感染症拡大防止に伴う様々な制約による精神的、経済的な疲弊が国民一人ひとりに非常に重くのしかかっており、国や県、市町村の政治判断は慎重に、しかしさらに明快かつ迅速な決定と行動が求められていると強く感じています。

残念ながら町という小さな自治体単位では、未知の感染ウイルスに対する医療に対する知見は乏しく、また大きな資金や権限を用いるなど社会経済全体への強い影響力を発揮することは困難であると言わざるを得ません。しかし、これまで培った地域との信頼関係のもと、葉山町の社会秩序の在り方を示し、人々の暮らしの安定に重要な役割を果たすことはできます。また、葉山町の代表として国や県と連携し仲介すること、そして町民の皆様へ将来への道筋を伝え、それを少しずつでも実践することで、うつむきがちな日々の暮らしに希望の光を灯すことができるのではないかと考えています。

具体的にはまずコロナウイルス対策として、3月頃から始まると見込んでいるワクチン接種事業については、国や県のガイドを受けながら逗子市、医師会など関係機関と連携しながら、着実かつ早期に進めていく覚悟です。つぎに、今年の夏に予定されているオリンピック・パラリンピックの盛り上がりとアフターコロナを見据え、適正な時期においてプレミアム商品券などの景気回復・刺激策とオリンピック機運の醸成を図る事業を町独自で取り組みます。さらに、花火大会の実施も準備を進め、町民の皆様が元気の出る企画も考えてまいりたいと思います。

また、令和3年度の予算については、前述の事業についても、限られた財源のなかで可能な限り編成しましたが、当然コロナウイルスの収束状況と6月以降の本年の税収状況を見定め見直すことも視野に入れなければならないと想定しています。

目下、感染が拡大している現況においては、コロナウイルス対策に万全を期すことを最優先事項として取り組み、町内の公衆衛生の確保と高齢者の健康維持、また、役場庁舎など公共施設での感染防止対策、職員の健康管理にもしっかり取り組んでまいります。

なお、昨年から葉山町が独自に取り組んでいる肺炎球菌ワクチンの接種については、世界的なワクチンの不足により、十分な供給ができない状態が続いていますが、現在、医療機関や製薬会社など、各方面の機関がそれぞれにワクチン確保に尽力してくださっているところであり、なるべく早期に供給ができるよう努めています。

引き続き、葉山の穏やかさと美しさに包まれながら、町民の皆様が健康第一にお過ごしいただき、またマスクなしの笑顔でお会いできる日を楽しみにしていただけるよう全力で臨んでまいります。本年も何卒よろしく願いいたします。

令和 3年 1月 7日  
葉山町長 山梨 崇仁